

洋上風力発電ワークショップ ～日本とノルウェーとの連携～



地球温暖化防止に対する関心の高まりを受け、洋上再生可能エネルギー、特に洋上風力発電の開発が世界中で進んでいます。国土面積が小さく、世界第6位の海洋面積を有する日本は、洋上風力発電が大きく発展する可能性を秘めています。また、我が国の産業も大きく成長することが期待されています。

一方で、洋上風力発電普及や産業振興のためには、コストダウンや海洋環境への対応、人材育成など、取り組むべく課題が多く存在しています。課題克服のためには、様々な経験を有する海外との連携が欠かせません。

上記の背景を踏まえ、今年8月末、日本財団はノルウェーの産業クラスターとの間で洋上風力発電をはじめとする海洋エネルギーに関し、MOUを締結しました。当該MOUに基づき、双方が最大で12億円を拠出し、共同開発プロジェクト等を支援して行くことと致しました。

今回、ノルウェー政府高官を含むノルウェー関係者が来日するのにあわせ、MOUに基づいた連携の具体化及び両国企業等のネットワークを図るためワークショップを開催することとしました。是非ご参加いただけると幸いです。

日 時：2018年10月22日（月）10:00-14:00

場 所：日本財団ビル（東京都赤坂1-2-2）

言 語：英語及び日本語（同時通訳）

主 催：公益財団法人 日本財団

参加費：無料

参加人数：約50名

応募締切：10月15日（月）23:59

※応募者が多数となった場合、抽選とさせていただきます

プログラム

9:30	受付開始 ※講演者や内容は事前の通知なく変更する場合がございます
10:00	開 会
10:00-10:20	主催者挨拶：日本財団の取り組み 日本財団 常務理事 海野 光行
10:20-10:40	基調講演： エネルギー分野で国際的な技術競争力を強化するための ノルウェーと日本の連携について ノルウェー石油・エネルギー省 副大臣 ： Ingvil Smines Tybring-Gjedde
10:40-11:00	講演：浮体式洋上風力発電において日諾両国が有する 機会と課題について Equinor Japan 代表：Karsten Stoltenberg
11:00-11:15	休憩
11:15-11:30	石油・ガス、海事分野から新たな海洋産業への技術の活用 － GCENODE クラスターの取り組み － GCE NODE CEO：Anne Grete Ellingsen
11:30-11:45	(技術紹介) 浮体式風力発電のサブステーションと基礎 Einar Øgrey Farsund AS Arne Marthinesen CEO ： Arne Marthinesen
11:45-11:55	(技術紹介) Windfarm Mooring System MacGregor Norway AS Director of strategy and emerging business：Jan Grindheim
11:55-12:05	オイルガスの経験に基づく洋上風力サプライチェーンの構築 Norwegian Energy Partners CEO: Sjur Bratland
12:05-12:30	「Offshore Wind Power in Japan ～ Present Status and Challenges～」(仮) 一社) 日本風力発電協会 国際・広報部長 上田 悦紀 (依頼中)
12:05-12:30	(技術紹介) 横河電機株式会社 IAPF システム事業センター PA システム企画部 AE/SV 事業・製品企画課 課長 小灘 聡一郎
12:30	閉 会
12:30-14:00	昼食 兼 ネットワーキング

日本財団海洋開発人材育成推進室

TEL：(03) 6229-2611 / FAX (03) 6229-2626

E-mail：ocean_innovator@ps.nippon-foundation.or.jp